

日本漢方生薬ソムリエ協会主催 第1回公開シンポジウム 「黄連シンポジウム」

日時：2019年11月10日(日)

13:00~17:30

場所：TKP金沢新幹線・会議室
6階6B室

参加費：3,000円

(協会会員は無料)

※定員80名・先着順(定員に達した場合は、協会会員を優先します)



「黄連シンポジウム」プログラム

★前半 13:00-15:00

1. 黄連の歴史的考察

『江戸時代に加賀黄連が良質品とされた理由』(Natural Medicines 1998)紹介
(東京農業大学教授・日本漢方生薬ソムリエ協会理事長:御影雅幸)

「森野旧薬園」の黄連について(大阪大学総合学術博物館, 特任助教:高浦(島田)佳代子)

2. 生薬・黄連の紹介(実物供覧を含む)(栃本天海堂:宮嶋雅也)

3. 各国薬局方の中の黄連(名古屋市立大学薬学部教授:牧野利明)

4. 黄連の栽培

福井県大野市の黄連生産(大野市黄連生産組合長・加藤好昭)

黄連栽培に必要な栽培面積を計算する(東北大学大学院医学系研究科:有田龍太郎)

★後半 15:30-17:30

5. 日本における黄連の分布状況:『黄連の分布』(生薬学雑誌1969)紹介(岐阜薬科大学教授:酒井英二)

6. 東京都薬用植物園の黄連(東京都薬用植物園・園長:山上勉)

7. 流通と経済面から見た黄連

黄連の市場価格と薬価の変遷(諸資料解説)

昭和10年前後の市場の黄連(諸資料解説)

昭和40年代の市場の黄連(漢方生薬ソムリエ協会・名誉ソムリエ:小松新平)

8. 臨床家から見た黄連(薬効を主として)(臨床医からの報告):実際の臨床を通して、中国産黄連と国産黄連の違いを見る

9. 黄連の研究:研究発表数題、及び、これまでの研究紹介